

KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2021年3月期 第1四半期

2020年8月3日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 主な医薬品の売上推移	P 3
III. 新薬開発状況（自社）	P 4
IV. 新薬開発状況（導出）	P 4

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2020年8月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、14,700百万円（前年同期比4.1%増）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により限られた医薬情報活動となりましたが、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、腎性貧血治療薬「ダルベポエチン アルファBS注JCR」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」及び「ピートル顆粒分包」などの売上が増加いたしましたことに加え、本年4月に販売移管が行われました男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルトOD錠25µg/50µg」、夜尿症・中枢性尿崩症治療薬「ミニリンメルトOD錠60µg/120µg/240µg」及び「デスマプレシン製剤」、糖尿病治療薬「マリゼブ錠」の寄与などにより、増収となりました。

情報サービス事業の売上高は762百万円（前年同期比38.5%減）、建設請負事業の売上高は467百万円（前年同期比34.0%増）、物品販売事業の売上高は131百万円（前年同期比66.0%減）となりました。

・利益の状況

利益面では、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が減少いたしました一方、売上原価率の上昇がありましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

・研究開発の状況

研究開発の状況につきましては、引き続き各テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。なお、脊髄小脳変性症治療薬KPS-0373（開発番号、一般名：ロパチレリン）につきましては、第Ⅲ相臨床試験を終了し、これまでの試験により得られた結果について重症度による部分集団解析などの詳細な検討を行うとともに、当局との協議を継続しております。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	2020年3月期		2021年3月期			
	第1四半期実績	通期実績	第1四半期実績	前同比	通期予想	うち上期
売上高	16,099	63,234	16,061	△0.2%	65,500	30,700
医薬品事業	14,123	51,308	14,700	4.1%	54,500	26,700
医薬品	11,245	41,397	12,686	12.8%	46,500	22,700
ヘルスケア食品	953	3,840	909	△4.7%	4,000	2,000
その他*	1,924	6,070	1,104	△42.6%	4,000	2,000
情報サービス事業	1,239	6,631	762	△38.5%	5,800	2,400
建設請負事業	348	3,610	467	34.0%	4,100	1,100
物品販売事業	387	1,684	131	△66.0%	1,100	500
(売上高のうち輸出)	(1,429)	(5,731)	(1,135)	(△20.6%)	(3,600)	(1,800)
売上原価	6,053	28,328	7,802	28.9%	34,600	15,700
(原価率%)	(37.6)	(44.8)	(48.6)		(52.8)	(51.1)
売上総利益	10,046	34,905	8,259	△17.8%	30,900	15,000
販売費及び一般管理費	7,984	33,048	6,625	△17.0%	35,500	16,200
研究開発費	2,392	10,767	1,720	△28.1%	12,400	5,000
(売上高比%)	(14.9)	(17.0)	(10.7)		(18.9)	(16.3)
営業利益	2,061	1,857	1,633	△20.8%	△4,600	△1,200
営業外収益	527	1,430	546	3.5%	1,400	750
受取利息及び配当金	505	1,227	452	△10.5%		
その他の収益	21	203	93	326.3%		
営業外費用	182	859	10	△94.4%	100	50
支払利息	5	23	5	0.3%		
その他の費用	176	835	4	△97.5%		
経常利益	2,406	2,429	2,169	△9.9%	△3,300	△500
特別利益	27	2,264	2	△91.8%	7,100	2,600
特別損失	2	62	0	△100.0%	-	-
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,431	4,630	2,171	△10.7%	3,800	2,100
法人税、住民税及び事業税	654	390	623	△4.7%	1,400	600
法人税等調整額	△241	1,351	△155	△35.4%	△740	△120
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益(△は損失)	5	71	△22	△469.3%	40	20
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,012	2,817	1,725	△14.3%	3,100	1,600

(包括利益)

(△1,113)

(22,783)

(-)

* : 国内販売提携先供給額、技術料売上（導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ）の合計額

Ⅱ. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	2020年3月期		2021年3月期			
	第1四半期実績	通期実績	第1四半期実績	前同比	通期予想	うち上期
過活動膀胱治療薬 ハオーバ	173	3,185	1,764	915.0%	5,900	2,800
デスマプレシン製剤 ミニリンメルト、他*	-	-	619	-	4,400	1,800
排尿障害改善薬 ユリーフ	2,191	5,857	1,095	△50.0%	3,700	2,000
高リン血症治療薬 ピートル	1,496	5,752	1,603	7.1%	6,600	3,200
腎性貧血治療薬 エボエチンアルファBS注JCR	1,608	5,520	1,164	△27.6%	3,500	1,900
腎性貧血治療薬 ダルベボエチン アルファBS注JCR	-	812	1,197	-	2,700	1,200
糖尿病治療薬 グルバス	1,316	4,501	1,162	△11.7%	4,700	2,300
糖尿病治療薬 グルファスト	417	1,406	341	△18.3%	1,100	600
糖尿病治療薬 マリゼブ	-	-	462	-	2,000	900
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	447	1,604	421	△5.9%	1,570	800
潰瘍性大腸炎治療薬 レクタブル	205	756	216	5.7%	820	400
高脂血症治療薬 バザトール	422	1,364	308	△26.9%	1,160	600

* : ミニリンメルトOD錠25μg/50μg/60μg/120μg/240μg、デスマプレシン点鼻液0.01%協和、デスマプレシン・スプレー2.5協和/10協和、デスマプレシン注4協和

Ⅲ. 新薬開発状況（自社）

(2020年8月現在)

開発段階	開発番号 (一般名)	開発区分	予定適応症	主な作用等	備考
第Ⅲ相	KPS-0373 (ロパチレリン)	導入品/塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン(TRH)作用	第Ⅲ相臨床試験終了 PMDAと協議中
	AJM300 (カロテグラストメチル)	導入品/EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用	
	CCX168 (アバコパン)	導入品/ピフォー・フレゼニ ウス・メディカル・ケア・ リーナル・ファーマ(スイス)	顕微鏡的多発血管炎、 多発血管炎性肉芽腫症	補体C5a受容体阻害作用	第Ⅲ相臨床試験終了
	R788 (ホスタマチニブ)	導入品/ライジェルファーマ シューティカルズ(アメリカ)	慢性特発性血小板 減少性紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用	
第Ⅱ相	KLH-2109 (リンザゴリクス)	創製品	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト	
	MR13A9 (ジフェリケファリン)	導入品/丸石製薬 共同開発	透析患者における そう痒症	κオピオイド受容体刺激作用	
	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	

※ 前回公表時（2020年5月）からの変更点：なし

Ⅳ. 新薬開発状況（導出）

(2020年8月現在)

開発段階	開発番号/ 一般名	提携企業	権利地域	予定適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	イーザイ(日本)	アセアン*1	2型糖尿病	速効・短時間型 インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)	イーザイ(日本)	アセアン、インド、スリランカ *2	前立腺肥大症に 伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用
第Ⅲ相	KLH-2109 (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	日本、一部のアジアを除く 全世界	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
	KLH-2109 (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	日本、一部のアジアを除く 全世界	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作	β2アドレナリン受容体 刺激作用

※ 前回公表時（2020年5月）からの変更点：なし

*1：申請中：ベトナム

*2：申請中：アセアン2カ国